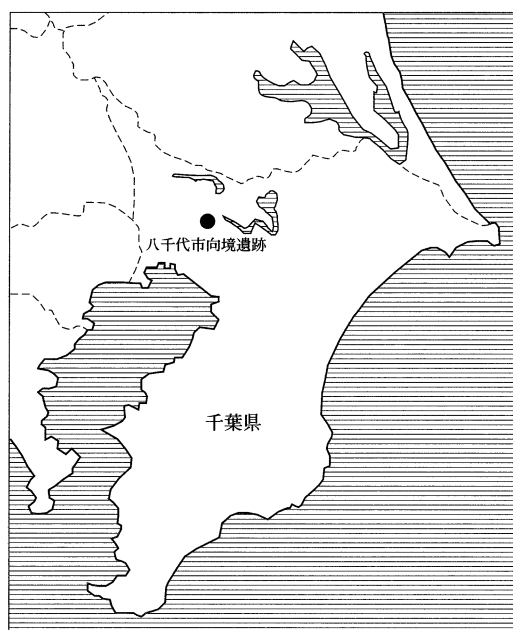


千葉県八千代市

向 境 遺 跡

(仮称) 八千代カルチャータウン開発事業関連埋蔵文化財調査報告書Ⅲ



2004

大成建設株式会社

八千代市遺跡調査会

凡 例

1. 遺構番号は発掘調査時には、遺構種別ではなく調査地区ごとの通し番号を付与した。遺物の注記、図面・写真への記録はこれによった。しかし、本書では遺構別に通し番号を新たに付与し直した。この遺構番号については、第1章に新旧番号の対照表を掲載したので参照していただきたい。
2. 本書の挿図において使用した地図は以下の通りである。いずれも一部改変・合成して使用している。
図1 国土地理院発行 1/25,000地形図 「小林」「佐倉」「白井」「習志野」(平成12年発行)
図2 大成建設株式会社発行 1/4,000 Y. K, プロジェクト 空中写真測量図(昭和63年発行)
3. 本書の挿図において、方位の表示のないものについては、公共座標に基づく座標北を上としている。
4. 本書の遺構実測図における用例は以下のとおりである。

- (1) 図中及び本文中における方位は、公共座標に基づく座標北を示している。
- (2) 縮尺率は原則として以下のとおりとするが、これ以外のものについては、図中に示したスケールを参照されたい。
住居跡 1/80 掘立柱建物 1/80 土坑 1/50 溝 1/50 炉穴 1/50 その他の遺構 1/80
- (3) 住居跡平面図に使用した一点鎖線は、床の硬化範囲を示している。
- (4) 遺構実測図で使用した破線は、推定復元線を示している。
- (5) 遺構実測中のスクリーントーンの表示は原則として以下のとおりであるが、個々については実測図脇に表示した凡例を参照されたい。



- (6) 竈のある住居跡にあつては、長軸と短軸の距離及び方位は、各コーナーから対角線に線を引いた上で住居の中心を出し、その中心の壁間での計測値を出した。また、主軸は煙道にて計測した。
5. 本書の遺物実測図における用例は以下のとおりである。

- (1) 縮尺率は原則として以下のとおりであるが、個々については図脇に示したスケールを参照されたい。
土器実測図 1/4 土器拓影図 1/3 土製品 1/2 1/3 石器・石製品 2/3 1/2 1/3 1/4
鉄器・鉄製品 1/4 銅製品 1/2 支脚 1/4



- (2) 遺物実測図中のスクリーントーンの表示は以下のとおりである。
- (3) 墨書・朱書は以下のスクリーントーンで表現した。墨書・朱書は不明瞭な部分が多いため、明瞭な部分はベタ塗り、不明瞭な部分は20%のトーンをかけて処理した。さらに文字の輪郭がはっきりしている部分は縁取りを行った。なお、推定復元部分は破線で示した。

